

地方経済は一部を除き、相変わらず元気がなく、衰退気味です。地域経済の活性化には「起業」による「売り上げと雇用」が大きな効果を生み出すと言われています。

しかし、景気が悪い中、簡単に起業できるわけではありません。起業率より廃業率が高いことからわかるように、継続は難しいものがあります。

今回お話しする起業とは、成



長を目標とした従来の起業ではなく、今の生活を基盤とした安定志向の「生活型起業」です。資金調達も無理なく、利益追求型ではありません。これまで販売ベースに乗せにくかったサービスで起業することも可能で、主婦などに向けた起業。パートナーと言えます。

生活型起業は、専門知識や経験が必要な綿密なビジネスプラン作りや起業資金の調達、営業

### ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

## 「女性起業塾」に期待

に苦労することも少なくて済みます。女性ならではの視点だからこそ、できることも多々あります。

ただ、やり方や考え方が違うため、これまでの男性主体、成長主体の指導や支援では、かえって芽を摘む結果になっていました。この反省から、女性ならではの生活型起業による地域経済の活性化に着目し、支援活動を行っている例として、七尾市の「のと・七尾女性起業塾」があります。

この塾では、「何かをしてみたい」という女性に、「女性ならではの起業」という選択肢を

知ってもらい、「やってみよう！」と思わせる流れを作っています。

普通は研修会だけで終わる例が多い中、女性たちに各機関とのネットワーク作りやチャレンジショップへの出店、市役所でのPR展の開催などきめ細かく、実践的な支援をしています。このため、徐々に彼女たちの中でネットワークが作られ、コラボレーションでのサービス展開や成功事例が出始めています。

今年5月、「第2回のと・七尾女性起業塾」が開催されます。今回は、1期生がメンター(相談相手)やロールモデル(見本)として運営を手伝う点も特徴です。小さな力の結集が、元気で力強い「まちづくり」につながっていきます。七尾の活動が良い見本となり、「まちづくり」の一つとして全国に波及していくことを願っています。

